

会 議 要 旨 録

会 議 名	令和7年度第1回毛呂山町介護保険運営審議会
開 催 日 時	令和7年8月14日（木）午後1時25分～2時10分
開 催 場 所	毛呂山町役場 201会議室
出席者氏名	【出席】鈴木委員、紫藤委員、小山委員、福島委員、木内委員 田中委員、末田委員、松本委員、小島委員、小林委員 後藤委員、二瓶委員、内藤委員、三浦委員 【欠席】星野委員
事務局職員	高齢者支援課：串田課長、柴崎副課長、細井係長、鳴河係長、 田邊係長、山本係長
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 ●高齢者総合計画策定推進会議 ・第9期高齢者総合計画の進捗状況（令和6年度実績）について ・令和7年度毛呂山町高齢者実態調査について ●地域密着型サービス運営委員会 ・地域密着型サービスの運営状況について ●地域包括支援センター運営協議会 ・地域包括支援センターの運営状況について 4. その他 5. 閉会
会議資料	○次 第 ○毛呂山町介護保険運営審議会委員名簿 ○毛呂山町の高齢者の状況 ○第9期高齢者総合計画期間における各種事業実績 資料1 ○毛呂山町高齢者実態調査について 資料2 ○令和7年度地域密着型サービス指定事業者一覧 資料3 ○令和7年度介護予防給付・介護予防ケアマネジメント業務の一部委託契約事業所一覧 資料4 ○令和7年度介護予防・介護予防ケアマネジメント業務委託の事業所への委託状況 資料5 ○令和6年度毛呂山町地域包括支援センター自己評価シート 資料6

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
串田課長	<p>1. 開会</p> <p>定刻前ではございますけれども、星野委員さんにおかれましては本日欠席となっております、皆様お揃いとなっております。</p> <p>本日お忙しい中、また残暑厳しき折ご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまより令和7年度第1回毛呂山町介護保険運営審議会を開会させていただきます。</p> <p>申し遅れましたが、私、本日の司会を務めさせていただきます高齢者支援課長の串田と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>まず初めに委嘱状の交付をさせていただきたいと思います。学校法人埼玉医科大学訪問看護ステーション管理者であられました福田祐子氏に代わりまして、今年度より新たに管理者となられました小山優子氏に委嘱状を交付させていただきたいと思います。</p> <p>本来であれば町長より交付をさせていただくところでございますが、代理で私の方から交付させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>〈小山優子委員へ委嘱状を交付〉</p>
串田課長	<p>それでは、新たに委嘱がされました小山様より、簡単で結構ですので、自己紹介の方よろしく願い致します。</p>
小山委員	<p>こんにちは。4月から福田に代わりまして、埼玉医大訪問看護ステーションの管理者となりました小山です。どうぞよろしく願いいたします。</p>
串田課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで今年度第1回の審議会でありますので、改めまして事務局職員の紹介の方をさせていただきたいと思います。</p> <p>〈事務局職員の紹介〉</p>
串田課長	<p>続きまして、本日の審議会でございますけれども、先ほども申し上げましたが、委員15人のうち、出席者が14、欠席者が1となっております。</p> <p>毛呂山町介護保険に関する規則第65条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席がありますので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、鈴木会長からご挨拶を頂戴し</p>

<p>鈴木会長</p>	<p>たいと思います。鈴木会長よろしくお願ひします。</p> <p>皆さんこんにちは。お盆のお忙しい中、と言ってもこの地区ではもしかしたら7月にお盆が終わってるかもしれませんが、今回第1回の会議ということで簡単にちょっとお話させていただきます。</p> <p>介護保険制度も2000年から始まりまして25年が経つということになります。ただですね、皆さんも知ってると思いますけど、少子高齢化で財政がかなり厳しくなってきました、どんどん社会保障のお金が増えている状況です。介護保険だと今、13兆超え、給付が13兆を超えてるのですかね。医療も40兆ぐらいになってますから、かなりの財源ですね。税金だけではもちろん全然やっていけない状況で、介護保険保険料も取ってるわけですが、プラスの赤字。その赤字をどんどん使ってるっていう状況なので、今後またさらに厳しくなるのかなと思います。しかし、高齢者も増えてますので、前向きにしっかりとやっていかなきゃいけないのかなと思います。</p> <p>今日も議題が3つ用意されておりますので、よろしくご審議のほどお願いしたいと思ひます。</p> <p>また、最後に、今またコロナが増えてきておまして、急激にちょっと増えてるんですね。皆さん注意していただいて、一時期一時、定点ポイント1台まで、1切ったのかな？今8ぐらいまでなっています。埼玉県が全国で第2位ぐらい。多い県になっておりますので、その辺も気をつけていただけたらと思ひます。</p> <p>では、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>申田課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入る前に、本日配布させていただきます会議資料について確認をさせていただきます。会議資料につきましてはお手元に配布してございます令和7年度第1回毛呂山町介護保険運営審議会配付資料一覧の通りでございます。配布もれ等がございましたら会議の中でも構いませんので、遠慮なく事務局までお申し出ください。</p> <p>それでは、毛呂山町介護保険に関する規則第65条第1項の規定に基づきまして、鈴木会長に議長をお願いいたします。どうぞよろしくします。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>それでは議事を進行させていただきます。</p> <p>高齢者総合計画策定推進会議を議題といたします。事務局からご説明をお願いいたします。</p>
<p>細井係長</p>	<p>本日配布資料としてお配りさせていただきました「毛呂山町の高齢者の状況」をご覧ください。令和7年7月1日現在の毛呂山町の高齢者の状況となっております。参考に1年前、令和6年7月1日の状況も掲載しております。</p>

こちらを比較いたしますと、総人口、高齢者人口ともに減少している状況ですが、高齢化率につきましては、0.3%増加している状況でございます。また、75歳以上の後期高齢者が211人、65歳以上のひとり暮らしの方の世帯が69世帯ほど、この1年の間で増加している状況となっております。

要介護認定の状況につきましても、認定者は70人の増、認定率につきましても0.7%の増で、中でも要介護2から4に該当する方が増加している状況となっております。後期高齢者の人口が増加しているということから、今後もこの状況は続いていくものと捉えております。

それでは第9期計画期間における各種事業の実績ですが、こちらは事前にお配りさせていただいております資料1を元にご説明いたします。

その前に、第9期高齢者総合計画の53ページにあるように、現計画である第9期計画の進行管理、または評価として、次の計画である第10期計画策定の施策展開の改善に繋げることができるよう、審議会に報告をして、ご意見を伺うということで、資料1にあるような見込み値・目標値を設定しているところでございます。また、令和5年度実績につきましても、計画を策定した時点で、数値が確定していないものがございました。今回、確定値を令和6年度の実績値と合わせて掲載をしておりますので、よろしく願いいたします。

資料の中からいくつか絞ってご説明したいと思いますが、まず、老人福祉センター山根荘について、利用者数といたしましては、概ね現状維持となっております。以前から利用してきた方の高齢化に伴い、サークル活動の休止、あるいは解散などがある中、今後は新たな利用者の方が増えるよう、指定管理者との協議を重ねまして、多くの方に利用していただけるような展開を進めていけたらと考えております。

また、(仮称)介護予防ボランティアポイント事業ですが、こちらは第9期計画策定の際に、9期の期間内で、事業の展開を目指していくとして掲載いたしました。しっかりとした事業として実施をするには、ボランティアをしたい人と受け入れたい施設の双方をマッチングする機能が欠かせませんが、その調整が思うように進められておらず、実現には至っていないため、数字が入っておりません。

続きまして、認知症カフェ(オレンジカフェ)の参加者でございますが、参加者数は増えており、いわゆるコロナによる外出控えが解消されてきているのではないかと、また、外出を控えてた方々が改めて人と会う機会やお話する機会を求めている。そのような方が一定数いらっしゃるのではないかとというふうにご捉えております。さらには、外出機会に対するその個人個人の考え方、あるいはその状態がいつまで続くのかといった部分が不透明であったため、第9期の計画策定時に目標値であったり、見込み値の設定がしづらい部分があり、見込みや目標の設定が低すぎってしまった状況となっております。

続きまして医療介護連携事業の推進では、在宅医療支援センターの相談件数が、令和5年度に比べ、減少しております。こちらのセンターは、

住民の方に限らず、医療関係者、介護関係者の相談にも応じているところでございます。センターの存在が浸透してきたこと、あるいは関係者間のネットワークが構築されてきたため、センターに相談せず、直接双方でやりとりできるようになり、この数字になっているのではないかということ、先日、町とセンターでそのようなお話をしたところがございます。

続いて、成年後見制度の利用促進でございます。令和5年度、令和6年度ともに、見込値より低い実績値となっております。しかしながら、ひとり暮らしの高齢者の方は増加しております。それに加え、家族関係の希薄化であったり、認知症高齢者の増加といった状況もあります。そのため、今後、成年後見制度に関する相談、あるいは町長申し立てに至るケースは、増加していくものと捉えております。

なお、本年度は既に2件の町長申立を行っております。

また、介護予防サポーターの養成数が減ってしまっております。広報等での募集に限らず、担当が熱心にゆずっこ元気体操に参加されている方や活動に興味のありそうな方に対して個別に声掛けなどを行いましたが、この年は思うように参加者を集められませんでした。

ご覧いただきました通り、第9期計画策定時に評価指標といたしまして、21項目42の指標を設定しております。概ね見込みや目標通りに推移しているもの、少し数値が離れてしまっているもの、それぞれございますが、今年度、来年度の実績をしっかりと捉えながら、来年度に策定いたします第10期計画に反映させたいと考えております。

第9期高齢者総合計画の期間における各種事業の実績につきましては、以上でございます。

鈴木会長

ただいまの説明に対しましてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

〈質疑なし〉

鈴木会長

よろしいですか。それではご意見は無いようですので、次の令和7年度毛呂山町高齢者実態調査についての説明をお願いします。

細井係長

令和7年度毛呂山町高齢者実態調査につきましてご説明申し上げます。ご覧いただきたい資料は資料2となっております。

介護保険法におきまして、「市町村は、当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする」とされております。

また、計画策定の基本指針として、地域で暮らす高齢者の課題を把握するための「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の実施と、在宅で暮らす要介護高齢者の適切な在宅生活の継続と、家族や介護者の就労継続

の実現に向けた介護サービスのあり方を検討することを目的とした「在宅介護実態調査」の実施に努めるようにと示されております。そのため、来年度策定いたします第10期毛呂山町高齢者総合計画の策定に向け、今年度に調査を実施するための準備を進めております。

実施する調査内容の詳細につきましては、今後、国の方から提示がございましたので、そちらを精査しながら、町の独自の設問を検討いたしまして、調査表を作成して実施をしております。なお、現時点におきまして、国の方からは調査項目、あるいは調査方法については、令和4年度に実施した調査と大きく変更する予定はない。収入のある仕事に関する設問については変更する予定であるといったような見解が示されております。参考といたしまして、令和4年度に実施いたしました調査の主な設問内容を資料の2・3ページにお示ししております。

調査の概要でございますが、今回実施いたします調査につきましては、65歳以上の要介護認定を受けてない人から、要支援2の認定を受けている人までを対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、要介護1から要介護5の認定を受け、在宅で生活をしている人とその介護者の方を対象としました「在宅介護実態調査」の2種類の調査を実施いたします。調査の設問数につきましては、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」が約90問程度、「在宅介護実態調査」が約50問程度で予定をしております。

調査の実施ですが、令和元年度、第8期計画の策定時には、悉皆調査、いわゆる全件調査で実施をしておりました。令和4年度、第9期計画の策定時には、国から、一定数の回答が担保されるのであれば、全件調査でなくても構わないと言ったような見解が示されたことにより、層化無作為抽出方式に切り替えて実施をしております。今回も同様に、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」につきまして約1,400件、「在宅介護実態調査」につきましては約600件の送付を予定しております。

なお、前回調査の実績ですが、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は80.8%、「在宅介護実態調査」は71.8%の回収率でした。

調査は郵送で行い、11月中旬頃に調査票の送付を予定しております。概ね年内を回答の回収期間といたしまして、取りまとめます。その内容は、後日調査結果報告書としてとりまとめます。

また、今回、この2つの調査とは別に町内介護保険サービス提供事業所を対象として、人材確保であったりサービスの提供状況などに関する調査を合わせて行いたいと考えております。

なお、調査結果につきましては今後のこの会議の場におきまして報告をしております。

令和7年度毛呂山町高齢者実態調査については以上でございます。

鈴木会長

この件に関しましてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

〈質疑無し〉

鈴木会長	<p>よろしいですか。それではご意見等無いようですので、高齢者総合計画策定推進会議をこれまでといたします。</p> <p>次に地域密着型サービス運営委員会に移りたいと思います。</p> <p>地域密着サービスの運営状況につきまして事務局からご説明をお願いいたします。</p>
田邊係長	<p>現在の毛呂山町における地域密着型サービス事業所ですが、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）が4ヶ所、通いと住まいを組み合わせる小規模多機能型居宅介護が1ヶ所、地域密着型通所介護は3ヶ所、認知症対応型通所介護が1ヶ所、介護職員や看護師などの定期的な訪問が受けられ、24時間対応の訪問介護を行う定期巡回随時対応型訪問介護看護が1ヶ所となっております。</p> <p>まず、グループホームの入所状況ですが、3ヶ月ごとに状況を確認しております。令和7年5月末現在、町内のグループホーム4ヶ所で51名が入所しており、3床空きがある状況となっております。待機者は、あおぞら毛呂山で1名、あおぞら川角で2名、あったかホーム毛呂山で1名、みどりの風あすわで3名という状況となっております。</p> <p>続きまして、小規模多機能型居宅介護、好日の家毛呂山の状況でございますが、こちらは定員25名に対し、現在25名の登録がありまして、ショートステイ利用が6名、通所訪問の利用が18名、待機者数が1名となっております。</p> <p>次に、地域密着型通所介護の指定状況ですが、町内ではデイサービスキラリ、町外に所在する施設について、2ヶ所指定をしており、合計3ヶ所の指定となっております。デイサービスキラリの利用人数につきましては定員が15名で登録者数が31名となっております。</p> <p>認知症対応型通所介護につきましては、町内にあったかデイ毛呂山があり、定員12名に対して登録者数が23名となっており、定期巡回随時対応型訪問介護看護のサザンケアにつきましては、毛呂山町の利用者登録者数が現在9名となっております。</p> <p>以上でございます。</p>
鈴木会長	<p>それではただいまのご説明にご質問ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>〈質疑なし〉</p>
鈴木会長	<p>よろしいですか。それではご意見等無いようですので、地域密着型サービスの運営委員会についてはこれまでといたします。</p> <p>次に、地域包括支援センター運営協議会に移ります。</p> <p>地域包括支援センターの運営状況につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>

鳴河係長

まず、資料6、これは地域包括支援センターの自己評価事業というものです。包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを加速させることを目的として、組織運営体制を定期的に評価し、その結果を踏まえ、事業の質の向上のために必要な改善を図ることを目標としております。私達地域包括支援センターでも、こちらの介護保険運営審議会が地域包括支援センター運営協議会を兼ねているため、委員の皆様からご意見を頂戴いたしたく、報告するものです。

グラフの大きく開いている方が毛呂山町で、若干内側に入っているグラフの方が全国の地域包括センターの数値になっております。こちらは毛呂山町地域包括支援センターに関しまして、全体的に高めの数値が出ておりますが、一部低い値も出ておりますので、そこを中心に説明いたします。

まず、総合相談事業につきまして、相談事例の終結条件について毛呂山町地域包括支援センターでは、取り組みを行っていませんでした。そのため、点数が低く出ておりますが、このたび、センター内で話し合いを行い、終結条件を入所した場合や死亡した場合、その他センター以外の適切な機関に繋げ、適切な引き継ぎが確認された場合、虐待の解消および再燃のリスクが消失した場合と決めました。

次に介護予防ケアマネジメント、こちらに関しまして、利用者のセルフマネジメントを推進するための取り組みができておらず、点数が低く出ております。介護保険事業におきまして、自立支援の取り組みが重要となっており、私達ケアマネは自立支援を意識したケアプラン作成能力とともに、利用者自身のセルフマネジメントの能力を上げることが求められております。こちらがまだできておりませんでしたので、研修などをはじめ、他の市町村を取組も参考に、向上していきたいと思っております。自己評価事業については以上になります。

次に介護予防給付、介護予防ケアマネジメント業務一部委託一覧について説明いたします。

今年度は新たな事業所の加入はありませんでしたが、今後、希望される事業所がありましたら、審議会の場で契約の了承を取りたいと考えております。急ぎの場合等は、鈴木会長の了承を得て契約を進めることとなりますので、ご理解をいただければと思います。

また、資料に記載はございませんが、現在のケアマネジメント業務量をお伝えしたいと思います。

地域包括担当しているケアプランですけれども、令和7年6月で257件のケアマネジメントを実施しています。そのうち直営で担当しているのが162件で、昨年度と比較して大きな変化はありません。

現在、町内のケアマネさんが若干増えておりまして、要介護者の方のケアマネジメントにつきましては、比較的スムーズにお願いできている状況であり、以前に比べると、ケアマネ不足は解消できている状況です。

最近の地域包括支援センターの状況といたしまして、認知症高齢者の1人歩きや近所トラブル、万引き、光熱費の支払い能力の低下から、電

鈴木会長	<p>気が止められてしまっている、などといった問題があります。独居であったり、同居や別居の親族も高齢であるため、なかなか動くことができない。また、ご本人もこちらの支援に対する拒否が強いという状況も見られ、深刻な状況です。地域包括支援センターとしましても、ご本人に寄り添いながら、意思を尊重ながらも、受診・介護サービスに繋げていくなどの支援を検討していきたいと思っております。また、関係機関や民生委員さんとも連携をとりながら、また、近所の方々への理解と協力を努めていきたいと考えております。</p> <p>ただいまのご説明にに対しましてご質問ご意見等ございますか。</p> <p>〈質疑なし〉</p>
鈴木会長	<p>よろしいですか。それでは無いようですので、地域包括支援センターの協議会についてはこれまでといたします。</p> <p>次にその他、事務局から何かありますでしょうか。</p>
柴崎副課長	<p>今年度の介護保険運営審議会につきましては、年2回の開催を予定しておりましたので、残りあと1回となりますが、第2回介護保険運営審議会につきましては、令和8年、来年の1月29日木曜日を予定しております。日にちが近づいてまいりましたら、事前にご通知いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本会議の出席につきましては、毛呂山町特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例に基づきまして、委員報酬がございました。後日、所定の口座にお振り込みいたしますので、確認をよろしくお願いいたします。</p> <p>その他につきましては以上でございます。</p>
鈴木会長	<p>ただいまの件につきまして委員の皆様から何かご意見ございますか。</p> <p>〈質疑なし〉</p>
鈴木会長	<p>よろしいでしょうか。それでは、本日予定しておりました議題は全て終了しましたので、議長の任を降ろさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
串田課長	<p>長時間にわたり、慎重審議をいただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは閉会にあたりまして、小林副会長より閉会のご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
小林副会長	<p>委員の皆様、ありがとうございました。また、事務局の皆様も準備等、お疲れ様です。ありがとうございました。</p>

冒頭、会長からもお話がございまして、財政が非常に厳しいということでございまして、皆様もお目にされているかなと思いますが、埼玉県の63市町村の財政力ランキングはよく話題になっているかと思いません。税収その他いろいろトータルで、いつも大体お決まりの順位で、最近、そのあたりの資料のを見ると3年後にはどうなってるっていうのがあって、皆様ご存知の鳩山町って今、某企業のランキングで日本で一番暮らしやすい街なんて宣伝されてますけど、一方で、3年後のデータだとワーストワンという。状況もすごく今変わってきている段階であるのかなと。

市町村がありすぎで国家が動くっなんていうような記事とかもある中で、いろいろ審議をしていかなくちゃいけないこと、特に認知症の問題も全国的で、ケアマネさんとか皆様のお話を聞いていきたい。

また当会においても、色々と、より良くなるよう、共にお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

串田課長

ありがとうございました。これを持ちまして、第1回介護保険運営審議会を閉じたいと思います。ご協議ありがとうございました。

【午後2時10分終了】